

●本館展示

本館における展示は、地域展示と通文化展示からなっています。地域展示では、オセアニアを出発して東回りに世界を一周し、最後に日本にたどり着く構成をとっています。

一方、通文化展示では、特定の地域単位でなく、音楽と言語を取り上げて広く世界の民族文化を通覧する形で展示しています。

●特別展示

研究の成果を特定のテーマや内容にそって紹介する展示です。年数回、特別展示館で開催されます。

●企画展示

年数回、本館にて特定のテーマをとりあげて展示します。

●無料ゾーン

イントロダクション、探究ひろば、ビデオテークおよびみんぱくシアターは無料でご利用いただけます。

●図書室

どなたでもご利用いただける図書室が3階にあります。



ご利用案内

開館時間	10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日	水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)、年末年始(12月28日~1月4日)
観覧料	一般 580(490)円 大学生 250(200)円 高校生以下 無料

- ()は、20名以上の団体料金、大学等の授業でご利用の方、3ヵ月以内のリピーター、満65歳以上の方(一般料金)の割引料金(要証明書等)。
- 特別展の観覧料金は、その都度、別に定めます。
- 障がい者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。
- 大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
- 高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くこととお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
- 万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

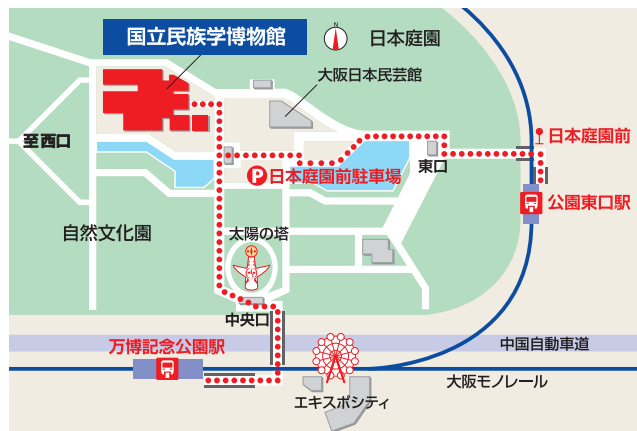
みんぱく映画会 研究者による解説を加えて、映像資料を上映します。

研究公演 世界各地の民族芸能などの公演を開催します。

みんぱくゼミナール 毎月第3土曜日に、テーマをきめて講演会を開催します。

みんぱくウィークエンド・サロン 日曜日に研究者が展示や研究についてお話しします。
※各イベントは都合により、予定を変更する場合があります。

国立民族学博物館友の会 家庭学術雑誌「季刊民族学」、友の会講演会、各種セミナーをおして多様な文化に関する情報をお届けします。
お問い合わせ先:千里文化財団 TEL.06-6877-8893



- 交通のご案内** ◎みんぱくは、大阪・万博記念公園内にあります。
- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」[公園東口駅]下車徒歩約15分
 - バス…阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
 - 乗用車…万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
 - タクシー…万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

お問い合わせ先 TEL.06-6876-2151 FAX.06-6875-0401

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
<https://www.minpaku.ac.jp>



国立民族学博物館

館内案内

日本語



Illustrated by Boojit

博物館のあらまし

国立民族学博物館(みんぱく)は、文化人類学・民族学の研究活動と、その成果を展示公開する博物館活動を一体的におこなう、博物館をもった研究所です。

調査・研究の成果にもとづき、世界の諸民族の社会と文化に関する最新の情報と知識を人々に提供し、

異なる文化についての理解を深めることを目的として、1974(昭和49)年に創設され、1977年11月に開館しました。

そのため、この博物館では、諸民族の生活を知る衣食住などの生活用具をはじめとするモノの資料や、レコード、DVD、テープ、フィルムなどの映像・音響、文献図書など、さまざまな資料を収集、整理、保存し、研究に役立てています。

また、資料の一部を一般に公開しています。



